



## PDA 岐阜県立岐阜高等学校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020年5月1日(金) 13:00-15:00

会場：遠隔開催 (zoom を使用)

参加者：生徒 13 名、教員 3 名 (ゲスト参加：神奈川県立相模原高校)

ジャッジ：PDA 認定教育ジャッジ (神奈川県立相模原高校)、PDA スタッフ

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、遠隔開催となりました。初めに、岐阜県立岐阜高校校長折戸敏仁先生より、「今日はオンラインでのディベートです。ぜひ頑張ってください。」と激励のお言葉をいただきました。次に、PDA 代表理事による簡単な説明と POI の練習がありました。



岐阜高校校長 折戸先生によるご挨拶



PDA 代表理事中川による説明

POI の練習を終えるとよいよ第 1 ラウンドの始まりです。岐阜高校の生徒のほとんどが英語ディベートは今日が初めてということもあり、少し緊張した様子も見られましたが、楽しく準備、ディベートをすることができました。



ディベートが終わるとエアー握手をしました

続く第2ラウンドでは、「**Local government should announce pachinko parlors that do not follow the self-restraint request for measures against coronavirus.**」(自治体はコロナウイルス対策のための自粛要請に従わないパチンコ店を公表すべきである。)」と昨今話題となっている時事問題ということもあり、第1ラウンドよりも難しい論題でしたが、準備時間では第1ラウンドでジャッジの先生から言われたコメントを活かしながらアイデアを出していきました。ディベートが始まると、準備していた話をするだけでなく、相手の話をしっかりと聞いて返答することができました。



ブレイクアウトルームでの準備時間



ディベート中の様子

ディベートが終わると、第2ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒が「英語ディベートをするのは初めてだったが、様々な表現などを学べてとても勉強になった。」「ジャッジの先生からたくさん知識を吸収することができ、これから活かしていこうと思った。」と感想を述べました。



感想を述べています

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分では思い付かなかった考え方を知れた。考えをまとめて話すのが難しかった。（岐阜高校）
- ・英語で自分の意見を述べる機会が中々ないので、新鮮で楽しかったです。初めてだったこともあって拙い英語ではありましたが、楽しかったです。また参加する機会があれば参加したいです。ありがとうございました。（岐阜高校）
- ・私の学校ではディベート部員しかディベートに関わらないので、他の学校の意識の高さを知ることができてよかったです。（相模原高校）
- ・英語力がもっと必要だと改めて思いました。（岐阜高校）
- ・久しぶりに本格的なディベートができた。先生から今まで知らなかったテクニックを学びました。満足しています。（岐阜高校）
- ・チームで意見を話しあったり、相手の意見を聞いたりしながら自分の考えが深まり、楽しかったです。英語ディベートは初めてで緊張しました。決められた役割の中で考えて英語を話すことが難しかったので、これからもまた挑戦したいと思いました。（岐阜高校）
- ・新しい世界を見ることができた。知識が増えた。意見を聞いて表現するのは難しくと分かった。楽しかった。（岐阜高校）
- ・自分とは違う立場の人の意見を聞きながら、自分の意見を作っていくのが難しかったけれど、とても楽しかった。英語ディベートは初めてだったので、とても緊張しました。自分の意見をうまく伝えることはあまりできなかったけれど、ほかの参加者やジャッジの方たちから多くのことを吸収できたと思います。また、自分の意見を英語で話すのはとても楽しかったです。（岐阜高校）